

## 成果指標設定調書

### 【成果指標の設定】

成果指標設定年度 平成 30 年度

市町村名	久喜市			
提案事業名	郷土の偉人本多静六博士の偉業・生き方から地域の魅力を再発見事業			
事業期間	平成 30 年度	～	平成 30 年度	
事業の必要性、目的	<p>久喜市立三箇小学校では本多静六博士の誕生日に併せた7月の本多静六週間で、博士の生き方などを教材化した道徳の資料を用い、全学年で授業が行われている。また、6年生については、総合学習の成果を資料としてまとめ、本多静六博士資料室において地域の方々に説明を行っている。</p> <p>このような実績を基に、博士の偉業を市内全域に発信するため、久喜市立三箇小学校の6年生が講師となり、市内全小学校の5年生を対象に講演会を行い、また、博士の偉業について更なる理解を深めるために改修した本多静六記念館を見学することで、講演で得た博士に関する知識を深め、自らが住む地域の魅力を再発見することで愛着心を醸成する。</p>			
成果指標	(成果を検証する指標) 本多静六記念館の年間利用者数			
	(成果検証の具体的な方法) 新たに改修する本多静六記念館の事業実施前と実施後の年間利用者数を比較し、増減数を分析する。			
	(上記の指標を設定した理由) 施設の利用者数を調査することで、市全域に本多静六博士の偉業を発信できたか計ることができるため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (29年3月現在)	8,107人 (年間)	目標値 (31年3月時点)	9,000人 (年間)
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標) (人)	-	稼働率(目標) (%)	-
住民への公表方法及び特記事項	ホームページ上で公表。			

### 【成果指標と構成事業の関連性】

平成30年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費 (千円)
① ふるさと久喜愛着心醸成事業 ソフト	市内全小学校の5年生を対象に講演会を行うことで、講演会を受講した生徒が魅力発信者となり、地域の魅力を発信することで、本多静六記念館の入館者の増加につなげる事ができる。	638
② 本多静六記念館展示改修事業 ハード	平成25年度の開館から多くの方に来館いただいておりますが、開館後に新たな資料の受入れを行ったこともあり、それらの資料を生かした展示改修を行うことで新たな魅力を創造し、入館者数の増加につなげる事ができる。	3,489
③ ハード ソフト 間接補		
④ ハード ソフト 間接補		
⑤ ハード ソフト 間接補		
<b>合計</b>		<b>4,127</b>

### 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	市ホームページや広報紙でPRするほか、講演会において利用促進の周知を図っていく。
成果指標の達成見込み	本事業を実施することにより、1日平均30人の一般者の来館者を見込むことから十分達成できるものと考えている。